

# 三和福祉作業所(日中一時支援事業始めました)



6月27日に「春の遠足」で羽田空港に行きました。空港に到着後、すぐに6階にある展望デッキで、離陸する飛行機をバックに記念撮影をしました。フェンス越しとはいええ、間近で見える飛行機は迫力満点。大きな音を立てて離陸する姿を、皆が目で追いつながら、歓声を上げていました。ターミナル内では、レストランで豪華な食事を楽しみ、その後にウインドジョッピンダヤスアイツの食べ歩きをゆっくりと楽しみました。帰りのバスでは、満足そうな笑顔と手には沢山のお土産を持って羽田空港の旅を終えました。



まず、お知らせとして今年度4月1日より作業所内の1室を使用し「日中一時支援事業」を開設しました。作業所の生活、就労の利用者は作業所終了後や土曜、祝祭日に市原、袖ヶ浦特別支援学校の生徒さんは、学校が終わった後や夏休み等に利用されています。室内では遊具で遊んだり、天気の良い日は、各所公園へ散策に出かけたりします。先日はキッズダムで一日楽しみました。そして毎年恒例7月25日に「サマーフェスティバル」を開催しました。

焼きそばやフランクフルト、キュウリの一本漬けを美味しく食べながら、熱いステージ披露を楽しみました。市原特別支援学校の教師が中心となって結成された「市原一座」のバンド演奏やよさこいソーランの披露、空想和太鼓「打雅御屋(だがしや)」の太鼓演奏を観覧し、身も心も夏一色になりました。

## 浅井小向ダイサービスえん(通所介護・介護予防)



大きな笹がえんに運び込まれると皆から「オー！」という歓声か湧く。早速輪飾りやちようちん、吹き流し、願い事の短冊などクワイ楽しんで作り、恒例の七夕を行いました。

「幸福の日々が一日でも多くありますように」「天空にそびえる富士の山の如く愛の生活を望む」等、願い事は様々ありました。その中でも話題になったのが「宝くじが当たったらえんに半分あげます」という短冊で、それを見た時には、その場にいた皆さんが大笑いでした。

そして、職員全員が一番の願い事は何よりも皆様が笑顔で過ごされることであり、その願いを叶える為にこれからも職員一丸となって頑張っていきたいと思っております。